第５回
書架とりんごと私
完全版！

2024 年は辰年ですね。

閲覧ありがとうございます！

今回も長いですよ。

どうぞ最後までお楽しみください。

年賀状は新年一月一日に新鮮な気持ちで書くべきでは？

色んな目標を立ててみる。が、続かない。

新年 NHK で放送しているニューイヤーコンサート、ひまなので見てしまう。

冬にいちごフェアをすることが全然理解できない。春のものでは？

りんごのたながね、できたんですよ。

できましたね。

りんごの棚･･･
　すべての子どもが読書の喜びを感じることができるよう願ってつくられたコーナー。スウェーデンの図書館から始まった取組み。
読書に困難がある子どもでも読みやすい LL ブックや点字資料などが置かれる。

※日本では”りんごの棚”の表記が多いのですが本学図書館では
”りんごのたな“と表記しています。

うちは大学図書館なので、子ども向け資料の他に、読書バリアフリーについて書かれた本や高齢者向けの大活字本も排架することにしています。

※排架･･･書架(本棚)に並べること

私の祖母も大活字本を読んでいます。書店でもあまり見ない種類の本なので、展示的な側面としてもいい取組みだと感じます。

そう！実際に見えないと認識することって難しいから。一か所に集めることで可視化できてよかったよ。

場所もよかったですよね。3Fカウンターの前で、入退館ゲートも近いし。

ここ、前は教科書コーナーでしたよね？

そうです。教科書コーナーはりんごのたなの向かいになりました。

そこは、洋書のレファレンス資料がありましたよね？

そうです。洋書のレファレンス資料は斜め前に移動になりました。

その斜め前の場所って、目録や索引があるコーナーですよね？

そうです。目録索引類はレファレンス資料に組み込みました。

？？？？

？？？？

どこかの誰かの参考になるかもしれないので、どういう計画だったのか、ちょっと紹介しますね。

そもそも、うちのレファレンスコーナーは辞書、事典、図鑑等の調査用資料（R）と、目録、索引といった検索用の資料（BR）は別に排架していました。

まず、これらを一か所にまとめたいという計画がありました。

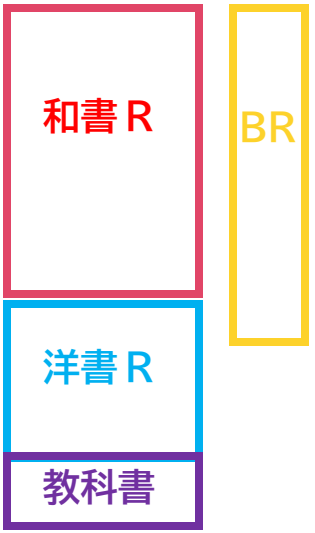
書架の収容可能数、現状の冊数、今後の購入見込み、利用状況、さまざまなことを考えた結果、書架を1面空けることができるかも・・・・・そうだ、りんごの棚を新設しよう！

と決まりました。

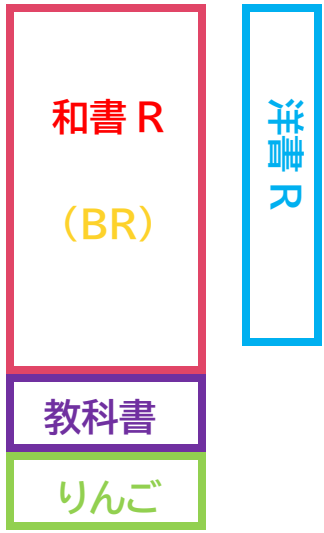
逆に言えば、レファレンスの移動を経ないと、りんごの棚は作れないということになります。

うちは、”福祉の大学”だから、少し前からりんごの棚が欲しいと考えてたんだよね。

≪改良前≫



≪改良案≫



作業の手順は、まず洋書Ｒを全部棚の上に置きました。

この段階で洋書Ｒ約1800冊を約８５０冊に調整しました。

そうして空いた洋書Rのあった書架に和書RとBRを請求記号順になるよう合わせ 9 類から入れていきます。

和書Rが約5000冊、BRが約1200冊ってとこですね。

手前の書架が和書Rで壁面の書架がBRです。

請求記号順になるよう和書RとBRをブックトラックに並べ、新しい排架場所へ運び、並べます。

棚の水拭きもしました。

最後に、空いたBRの書架に洋書Rを排架し、教科書を移動し、りんごのたなを新設すれば・・・

終～了！

……正直、疲れましたね。

『としょかんぽう』本紙の方でも言ったけど、レファレンスの資料って重いんだよ。それが8000冊でしょ。

腕もですけど、親指の付け根が痛くなるんですよね。図書館員にとって腰痛と腱鞘炎は職業病とも言えます。

だれも怪我とかなく終わってよかったです。

そして、思ったより早く終わりましたね。もっとかかる印象でした。

始めちゃうとね、「もう終わらせたい！」ってなるんだよ。あと、今回はちゃんと計画を立てて始めたから作業の時は体を動かすのみ！って感じでサクサク進んだんだ。

この書架の何段目から何棚分がこの分類の分と完全に決め、R と BR もあらかじめ請求記号順になるようリストを作成しその通りにブックトラックに積んでもらいました。

いや、そもそも・・・・・・なんで R と BR を分けて排架していたんですか？

な、なぜでしょう？？
（小金治さん、チラッ）

あ～～、昔はもっと BR 資料が少なかったのよ。データベースとかがない時代だったし、目録・索引類は別置してあった方が使いやすかったの。

だから BR も最初は 3F カウンター前にあったし。

ん？？？

3F カウンター前の、いま教員推薦図書を排架している書架。

そうだったんですか！？私がこの図書館に勤務し始めた時は、あそこはリザーブブックでした。そのあとは問題集コーナーだったかな？

じゃあ、あそこは BR→リザーブブック→問題集→教員推薦ってことですか。

そう・・・いうことかな。たぶん。

変遷がすごいですね。

うちの図書館は、コーナーの移動が結構ありますよね。建物自体の改築も多くて、迷路みたいと言われることもありますね。

時代に合わせてコーナーを新設したり、改築に合わせてコーナーを移動させたり・・・

あと単純にうちの蔵書が週に100冊ペースで増えていますからね。

書架のやりくりが大変！

寄せたり詰めたり別置したり。今回調整した洋書Rも書庫に持っていっただけですからね。約950冊分のスペースなんてないですから、まだ別置状態です。

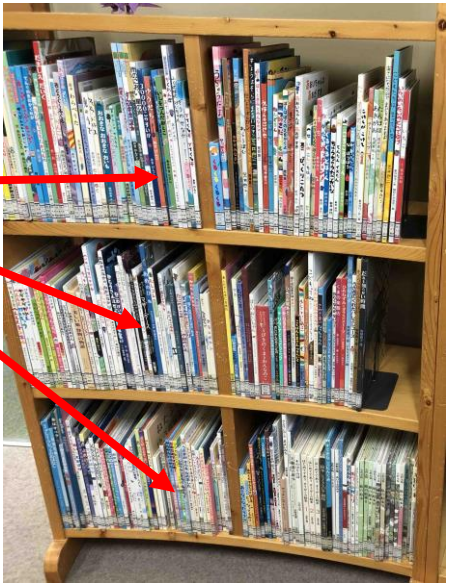
移動させようと思っても、移動先の書架の資料を寄せないと入らないんですよね。

すっごい遠くの書架のスペースからちょっとずつ詰めていって排架したい書架にスペースを作ることもよくありますね。

図書館員

たとえばココ、

棚がいっぱいで
もう本を入れることが
できません。



でも入れないといけな
い！という時･･･

他の場所で空いている
ところから詰めてスペー
スを持ってきます。

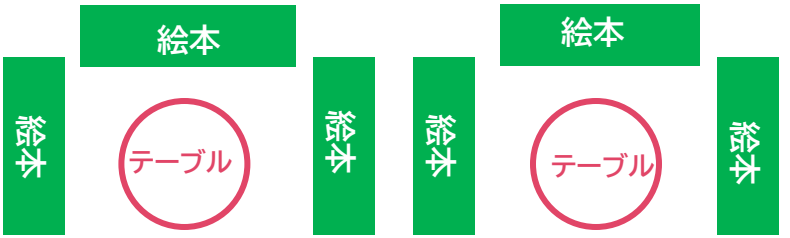
この時は、絵本の「あ」が
いっぱいだったので、
「せ」からスペースを取っ
てきました。

見事、スペースが誕生いたしました。
各棚あと7～8冊くらいは排架できそう
ですね。

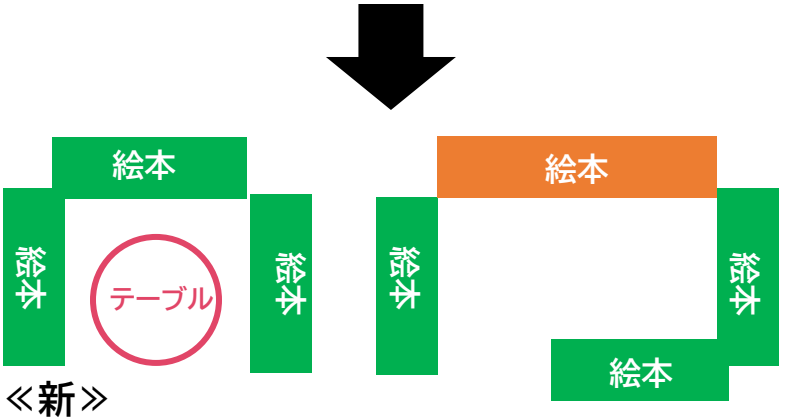
絵本は著者の頭文字で並びが決まるのですが、サ行とタ行が多いんですよ。なので、「せ」のところに余裕を持たせていたら・・・ヨミが外れましたね。

絵本コーナーも前と少し変わりましたよね？

そうですね。下のオレンジの書架が増えました。



≪旧≫



≪新≫

このオレンジの書架、3Fカウンターの事務用の棚を持ってきたんですよね。だから他の棚と違うんです。

もう本当になにをやっても、絵本が入りきらなくて棚を譲ってもらいました。

このオレンジの棚ってベストセラーコーナーの棚と同じ？

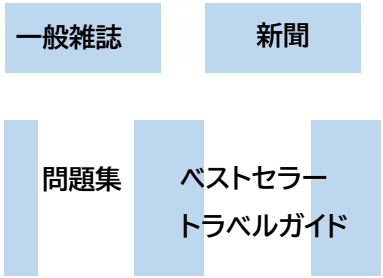
そうです。ベストセラーコーナーを2Fから3Fに移動させなくてはいけなくなった時に事務用の棚を持ってきました。

今のベストセラーコーナーのところって、大きい丸テーブルが置かれていた記憶があります。

ベストセラーコーナーの窓際にある新聞類も前は1Fのブラウジングルームに置いていたよね。

≪旧≫

≪新≫



前述の通り、問題集は3Fカウンター前の書架からこちらになりました。いまそこにある教員推薦図書は、ここにあった学科推薦図書の後継です。ちなみに大型地図は現在1Fにあります。

これ読んでいる人、わけわからないでしょうね。

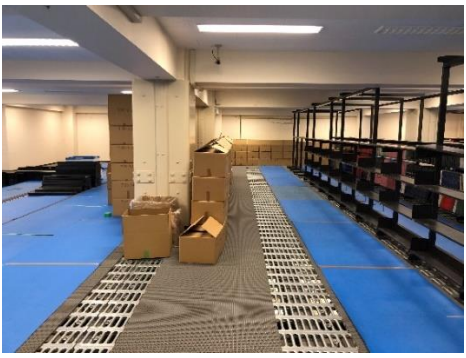
なんでそんなことするの？って思われているでしょうね。仕方なくなんですよ！

2Fのベストセラーがあった場所、床が半分になりましたからね。移動せざるを得なかったんです。

たしかに、私がいない間に2Fはずいぶん変わりましたよね。

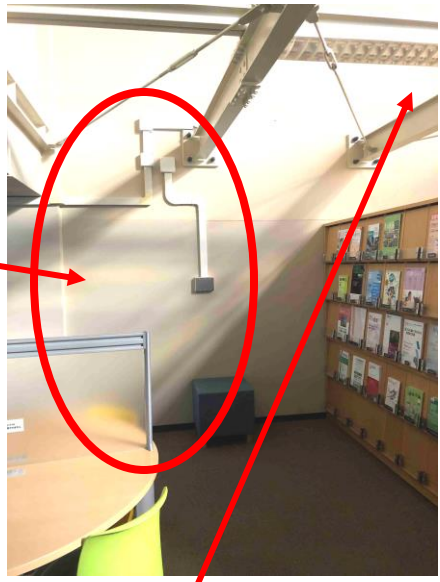
耐震工事！！！！

もう、本っ当に本っ当に大変だった！洋雑誌書庫が丸ごと一つなくなったからね。



今はもうない洋雑誌書庫。
現在は2号館に移転されています。

この辺に、洋雑誌書庫への入り口があったんですよね。



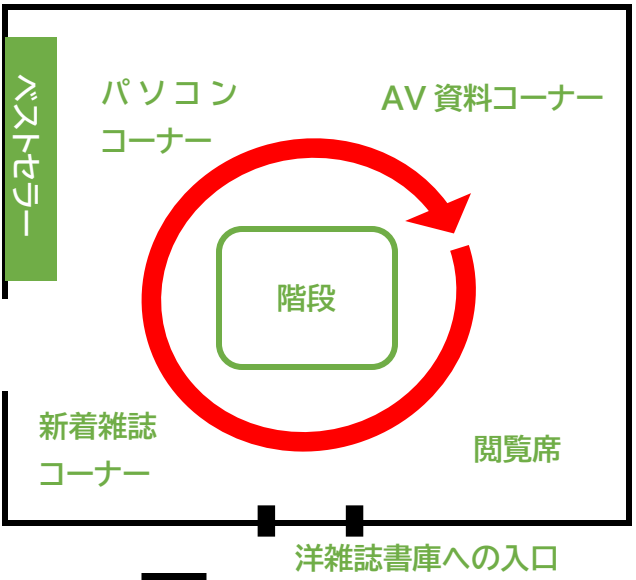
この新着雑誌コーナーの天井もなくなったんでしたっけ？

そう。今は吹き抜けみたいになっているけど、もっと低い位置に天井あったよ。これも照明の調整とかやったな。

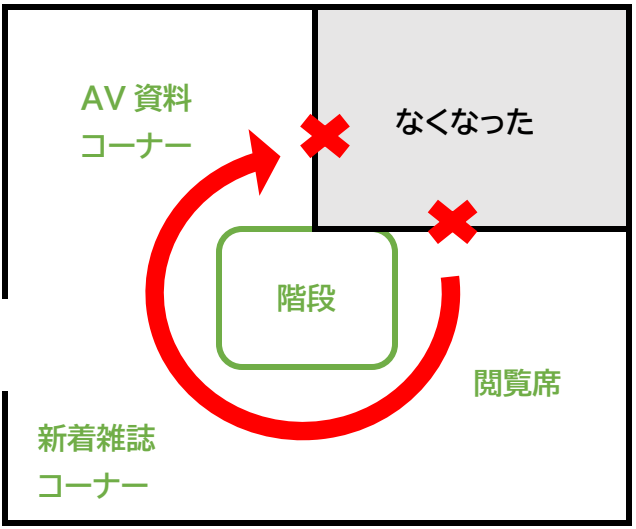
あと、2Fって回遊動線でした・・・よね？ぐるっとできたような気が・・・・・

そう。そこの床がなくなったの。

≪旧≫



≪新≫



このなくなった部分、1Fのブラウジングルームの天井だったんだよね。だからブラウジングルームは天井がなくなって吹き抜けっぽくなりました。

耐震工事については、『としょかんぽう』の33号と34号で少し紹介しています。図書館のHPでこれらバックナンバーを見ることができますので、ぜひ読んでみてください。

耐震工事だけでなく、新型コロナウイルス感染症も影響しましたよね。新聞と一般雑誌をブラウジングルームから3Fに移動させたのは、感染防止のためブラウジングルームが使用禁止になったからでしたね。

なくなったといえば、3Fの小閲覧室なくなりましたよね。

そうだった！新着雑誌コーナーの天井が小閲覧室の床だったんだ！

あー、そうだ！

このへんに入口がありましたよね。

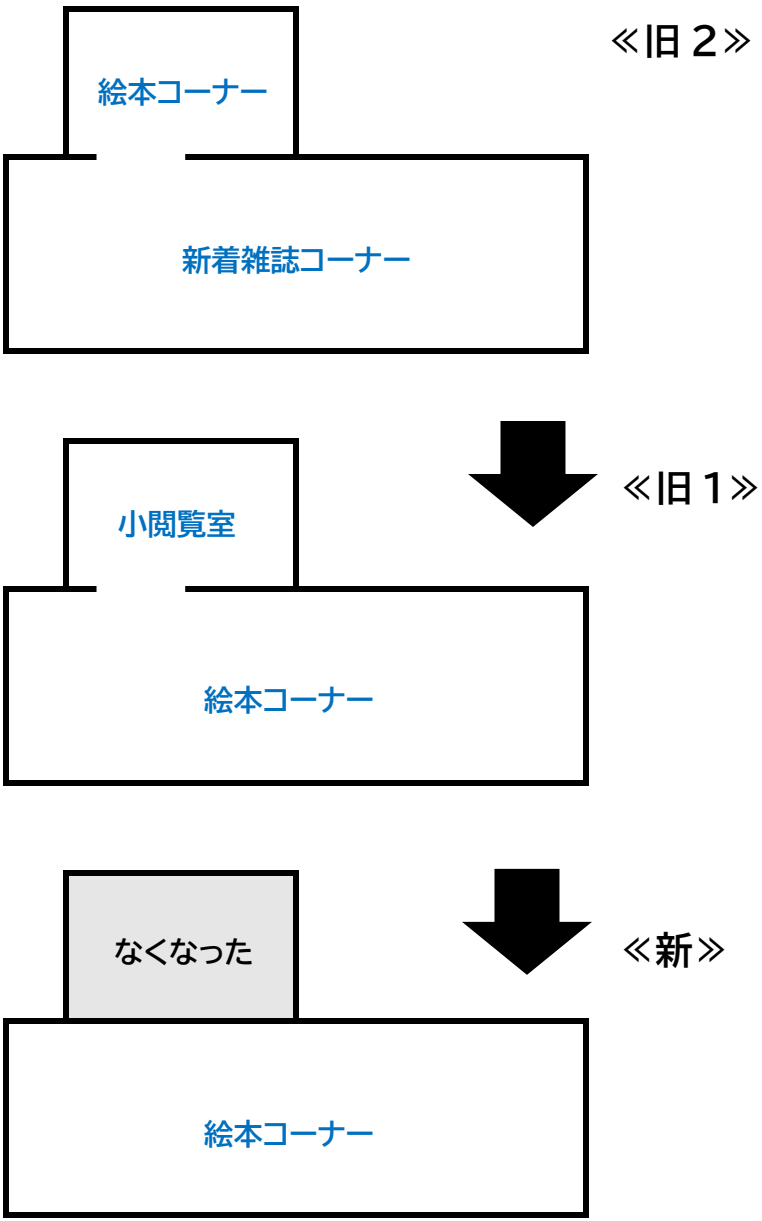
小閲覧室は昔から小閲覧室でした？

違ったような･･･。絵本コーナーじゃなかったでしたっけ？

新着雑誌コーナーじゃなかった？

どうだったっけ？？

小閲覧室のところが絵本コーナーで、絵本コーナーが新着雑誌コーナーじゃなかったですか？



いや、ちょっと待ってください。新着雑誌コーナー、3Fにあったんですか？　ということは、あのハチャメチャに重い雑誌架を3Fから2Fに下したってことですか？？

そんなの無理じゃないですか？？

う～ん、でも、やった･･･んです･･よねぇ･･･

あ～、なんか、やった･･･かもね。

業者に依頼して？

いや･･･、自分たち･･で。

？？？？？？？

（そんなこと可能なんですか）

↑雑誌用の書架。
想像を絶する重さ。
本当に重い。

そういえば、私が図書館から他の部署に異動になって、数年後戻ってきた時、事務室が2Fにあったの驚いたな。1Fにあったよね。

そうですね。図書館総合展の特別鼎談でもお話しましたが、2011 年夏頃に移動させました。

1Fは、今は洋書庫になっていますね。

2Fはさ、パソコン室だったよね？

パソコン室？

なんか、授業とかで使っていた気がする。教員の研究室もあったっけ。

2001館（隣の建物）と繋がったのはいつだっけ？

AV 資料って、3Fカウンターにありましたよね。

今、1Fにある美術書も中 2Fにありましたよね。

な、中 2F？？　中ってなんですか？

1Fに併設している国見堂って181ホールにあったよね。

国見堂のとこ、陶芸教室でしたよね。

陶芸？図書館関係ないじゃないですか。

そしてもっと昔は駐車場だった。

？？？？

？？？？

コーナーを移動させたり、新設したりすると体力的な作業がまず思い浮かぶけど、事務的な作業も結構あって大変なんだよね

今回のも計画立案に、資料のデータ変更に、OPACの表示変更を管理業者に依頼して、館内掲示を作り直して、といろいろありました。

今回のりんごのたなの新設は、私とコイケが関わっていたから、館内掲示の作成は広報WGにスムーズに繋げたね。

以前は、図書館員が各自で掲示物の作成をしていましたが、ここ数年は広報WGに依頼してもらう流れができてきて、掲示物の把握もしやすくなってきました。

いい流れですよね。昔は私と小金治さんの2名しか広報WGにいなくて、『としょかんぽう』の作成で精一杯でしたね。

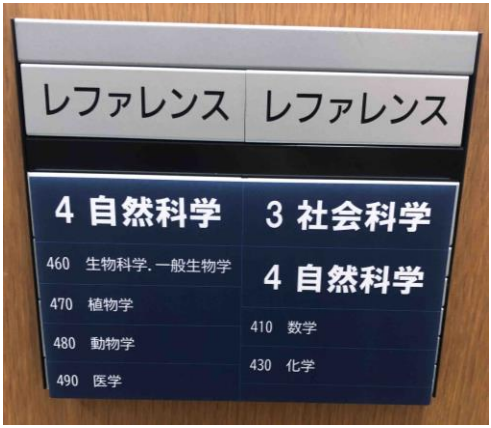
今回、広報WGで手分けして、“りんごのたなの掲示”、“レファレンスコーナーの掲示”、“階段の掲示”を作成し直しました。

りんごのたなは新設だったので、ゼロから作成しました。

看板はブック型になっています。

ちょっといろいろあって、これ急いで作ってもらったんだよね。

退勤時間間際に設置にいってましたね。



レファレンスコーナーも資料の排架位置が変わったので、書架側面の表示を変更しました。

これ、書架に備え付けの表示板が変更できなかったんですよね。

そう！だから似たレイアウトで作って、上から貼りつけたの。

前に、他の図書館を見学した時、デザインにこだわって外注しても、図書館員自身で変更できるものじゃないと使い勝手がよくないって意見を聞きました。

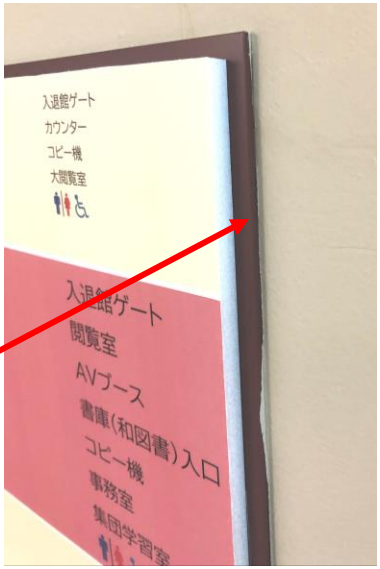
私がよく行く書店も、書架の側面の表示の上から手作りのを貼っていました。

永遠に同じレイアウトではやっていけないからね。

図書館内の階段の表示も変更になりました。

これまでは、その階の内容しか表示がなかったんですが、全ての階の内容を表記した上で、いま何階にいるかわかるように色で示すようにしました。

もちろん、こちらも上から貼りつけております。



この茶色い部分が備え付けの案内板。これまでは上からテプラを貼って修正していたが、もう限界だった。

建物も掲示も書架もツギハギですよね。

そろそろ限界ですよね。

そろそろ欲しいよね、アレ。

欲しいですね。アレ。

あったらいいですよね、アレが。

夢ですよねぇ、アレ。

新館（アレ）、欲し～～～～い

新春
東北福祉大学図書館
Quiz

問１

2023 年、新しくできたコーナーは、〇〇〇の〇〇

※ヒント･･･この鼎談完全版を読み返してね

問２

館長室の窓から見える木は〇〇〇〇？

※ヒント･･･としょかんぽう 37 号を見てね

問３

大きな地震が起きたら図書館も書架から本が落ちてしまいます。もちろんその後は、〇〇〇〇が〇〇〇元に戻します。

※ヒント･･･としょかんぽう 35 号を見てね